



「いやあみんなしゃかりしてます!!」

昨日、新生徒会役員が決まりました。会長が森都輝夢さん。副会長が高田なつと前田安梨さん。書記が大石汐香さんと瀬元紘太さんです。これからの中を、中心となるのは、でもういいと思ひます。惜しくも当選できなかた候補者の人たちも、自分に票を入れてくれた人たちのためにも、委員長たり、クラスのリーダーだったりと、生徒会の一員として、しゃかりと**四中を変える中心的役割**をなしてほしいと思ひます。みんなには、その力が十分あります。それは立会演説会で訴えてくれた公約の内容にも現れています。全員が、今の四中のいいところや、課題であるところをしゃかりと把握して、どうしたいい学校に変わっていくのか対策を考えていきました。

そんな中で、私が驚いたのは、**学習意欲と学力を上げるための取組を訴える人が何人かいたことでした。**びっくりです！一般的には、勉強というものはあまりしたくないものなので、生徒の方から、学習の取り組み方をしゃかりましょう、とかいうことはあまりないんですね…。

いやあ感心しましたね。私の経験の中では、公約で、そういうことを打ち出す演説会は初めてでした。ほかにも、**メディアの使い方の取組**を考えて、テスト前に向かう習慣をつくっていくとか、教え合うことで学びが深まるとか、



→ 地域を知る 取組をするとか、学校行事に地域の人を呼びこんでやめてみたいとか、さらには、卒業後に役に立ち、将来に必要な力を身につけるような学校生活を、としたことまで出ていました。それでね、極端な話、生徒たちの中で「の話題がこんな話だけになたら、もう先生たちはいらないんじゃないか」と思ひます。これは、選挙前の公開質問会でも、同じような感じでした。昨年から、松崎先生の発案で始まり、政治家がやっている討論会のようなもので、昼休みに各候補者に生徒から質問をして、それらの候補者に答えてもらう、というものです。その質問の中に、四中のいいところと課題と思うところは？というものが、「あ、たのですが、いいところは、行事などに一生懸命取り組むし、元気がある。学年をまたいても仲がいい」といったものでした。それに対し、課題は？というと、メーリハリがない、勉強をはじめ、授業中や休み時間の過ごしがもう少し、と、冷静に自分たちの現状を把握していました。「いやあしゃかりしているな」と思ひました。生徒たちが考へていることがよくわかり、とても面白く、楽しい時間でした。自分が中学生のころをふり返ってみると、本人も考へてなかたなあ、と反省させられるようになりました。だから、みなさんは自信をもって行動してください。きっと生まれ、できないうけじょめて、しようとしないでいただけなんです。まずはやってみましょう！

これが四中は、こうした人たちを中心に動き始めます。どう変わっていくかがとても楽しみです！ 保護者の方々も、これから生徒たちが考へた取り組みがいい出でました。協力をお願いします。当然トラブルもおこります。つかず離れて貢げてください。これだけのことを教えられた年頃です。過保護になりすぎず、温かく見守ってください。

